

2023年2月9日

各 位

会 社 名 日清オイリオグループ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 久野 貴久  
 (コード番号 2602 東証プライム)  
 問合せ先 執行役員 財務部長 川邊 修  
 (TEL: 03-3206-5036)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月11日に公表した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 500,000	百万円 13,000	百万円 13,300	百万円 9,200	円 銭 283.88
今回修正予想(B)	550,000	14,700	15,000	9,800	302.37
増 減 額 (B-A)	50,000	1,700	1,700	600	
増 減 率 ( % )	10.0%	13.1%	12.8%	6.5%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	432,778	11,670	12,648	8,595	265.24

2. 修正の理由

世界的な人口増加に伴う旺盛な油脂需要に加え、バイオ燃料需要の高まり、地政学的リスクの顕在化、歴史的な円安進行などの影響等、油脂業界は大変厳しい事業環境下にあり、食用油コストは歴史的に高い水準で推移しています。

売上高については、「Value Up+」の4年間で目指す新たな価値創造での売上拡大方針のもと事業を推進しており、更には昨年度から続く急激なコスト上昇に伴う価格改定により通期の業績予想を上回る見込みとなっております。

利益については、第3四半期で計上したパーム油等の取引に関わる時価評価益の戻り損が発生するものの、国内においてコストに見合った適正な販売価格の形成や生産性向上に着実に取り組むとともに、海外子会社における原材料価格高騰を背景とした販売価格の上昇や付加価値品の販売数量増加に伴うマージン改善、さらには為替の円安基調による為替換算の影響等により通期の業績予想を上回る見込みとなっております。

上記より、売上高および各利益項目について、2022年5月11日に公表した業績予想を修正するものであります。

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により変動する可能性があります。

以上